

2018年12月13日

各 位

株式会社電通国際情報サービス

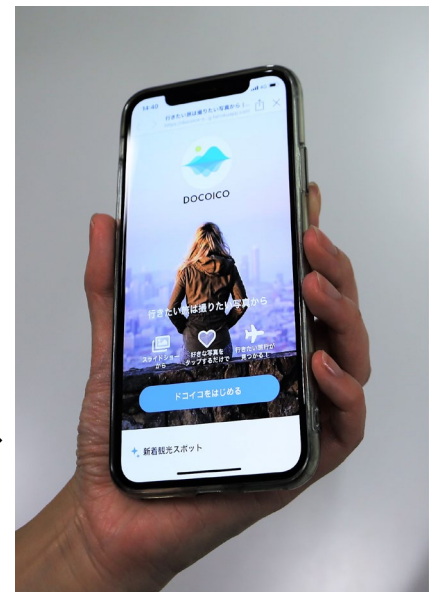
ISI-Dentsu of America, Inc.

ISID の米 R&D 支援チームが ANA の旅アプリを開発

～ “ミレニアル世代に刺さるサービスとは？”着想から実装まで先進手法で支援 ～

株式会社電通国際情報サービス(本社:東京都港区、代表取締役社長:釜井 節生、以下 ISID)の子会社である ISI-Dentsu of America, Inc. (本社:米国ニューヨーク州、President & CEO:木村 憲司、以下 ISID アメリカ)は、ANA グループの販売事業会社である ANA セールス株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:宮川 純一郎、以下 ANA セールス)が、本日より ANA の新サービスとして公開する新感覚の旅アプリ「DOCOICO」を開発しました。

「DOCOICO」は、「写真を見て旅のインスピレーションを得る」という、ミレニアル世代^{*1}の行動傾向をベースにデザインされたモバイル WEB サービスで、ANA の LINE 公式アカウントからアクセスすることができます。開発にあたっては、デザイン思考^{*2}、リーンスタートアップ^{*3}などのアプローチや方法論を駆使し、アイデアの着想から仮説検証、プロトタイピング、実装、運営まで、全てのプロセスを ISID アメリカの R&D 支援チームがサポートしています。



■背景と概要■

人々が商品やサービスを認知する接点が多様化し、購買に至る行動プロセスが複雑化する中、新たな事業の開発には、ユーザー視点のアプローチが不可欠とされています。徹底的なユーザー観察で得られる気づきからサービスをデザインし、短期間で実装と検証を繰り返す、機動的で柔軟な開発スタイルが世界的潮流となっています。

サンフランシスコを活動拠点とする ISID アメリカの R&D 支援チームは、エンジニアやデザイナーなど多分野に跨るプロフェッショナル人材で構成され、現地の著名なデザインファーム・ソフトウェア開発会社等と連携して、サービス設計からプロトタイピング、MVP^{*4}開発、検証まで機動的に行う体制を構築しています。これまでに大手銀行やカードブランド会社など、新事業開発を目指す日本企業との共同プロジェクトを数多く実施しており、本年 7 月には日本企業向け R&D 支援プログラム「Innovation Accelerator」も開始しました。これらの知見が評価され、今回 ANA セールスのテクノロジーパートナーとして採用されました。

開発プロジェクトは「ミレニアル世代向けに新しい旅の体験を提案する」というテーマ設定のみでスタートし、ターゲット層のペルソナ設定から行動パターンの可視化、サービスコンセプト設計、初回プロトタイプ実装までを約 4 カ月で実施。国内の大学生など約 100 名へのモニター調査とグループヒアリング結果を踏まえてブラッシュアップを重ね、計 3 サイクルのプロトタイピングを経て、本日のローンチに至りました。またローンチ後も、様々な KPI 分析をもとに継続的改善と機能開発を続けていく予定です。

■「DOCOICO」について■

「DOCOICO」は「写真を見て、気に入ったらそこに行ってみよう」というミレニアル世代の行動傾向を形にした新しい旅のガイドサービスで、美しい景観のスライドショーから始まるシンプルで洗練された UI が特徴です。ユーザーは、気に入った写真に「LIKE」していきただけで旅の候補となる写真をアーカイブでき、LIKE リストを比較しながら、場所や交通手段のほか、写真映えするアングルや撮り方などの情報を確認できます。行き先が決まれば、そのまま ANA のツアーサイトに遷移できます。

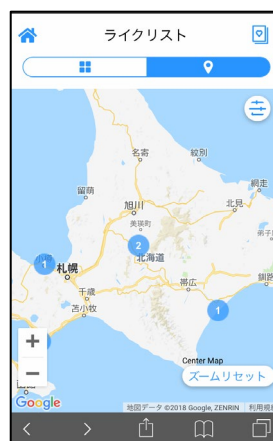
<DOCOICO のサービスの流れ>



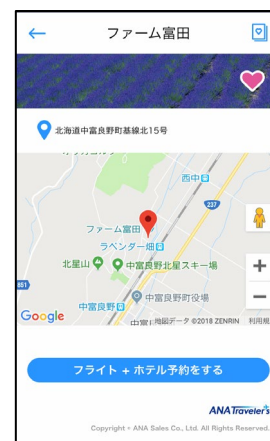
①直感で気に入った写真を「Like」



②「Like」した写真がリスト管理される



③リストの写真は地図上でも検索可能



④各写真が持つ詳細情報から旅の目的地検索が可能

DOCOICO 公式サイトはこちらをご覧ください。 <https://www.ana.co.jp/ja/jp/travel/docoico>

ISID アメリカの活動詳細についてはこちらをご覧ください。 <https://isidentsu-lab.com/>

- ※1 ミレニアル世代: 2000 年代に成人あるいは社会人になる世代の意で、1980 年代から 2000 年代初頭までに生まれた人を指すことが多い。インターネットが普及した環境で育った最初の世代であり、親世代とは異なるライフスタイルや価値観を持つ。その人口の多さから、消費や文化に大きな影響を与えるとされる。
- ※2 デザイン思考: 「人間中心」の考え方のもと、ユーザーを徹底的に観察し、プロトタイプ制作と改善を繰り返す思考法。イノベーションを生み出すアプローチとして世界的な潮流となっている。
- ※3 リンスタートアップ: コストをあまりかけず、最低限の製品やサービス、試作品を作って顧客の反応を見ながら改善を繰り返すことで、起業や新規事業の成功率を高める手法。
- ※4 MVP: Minimum Viable Product の略。「実用最小限の製品」と訳される。顧客に価値を提供できる最小限の製品やそれを使ったアプローチのことを指し、限られた時間で顧客のニーズに基づく商品・サービスを生み出し、無駄なコストの削減にもつながる手法として注目されている。

【製品・サービスに関するお問い合わせ先】

ISI-Dentsu of America, Inc. R&D Group 公門

E-Mail: info@isidentsu-lab.com

【本リリースに関するお問い合わせ先】

株式会社電通国際情報サービス コーポレートコミュニケーション室 李、多鹿

TEL: 03-6713-6100

E-Mail: g-pr@isid.co.jp

関連プレスリリース

- ・ ISiD アメリカが米 Gigster と提携、先端技術による R&D 支援プログラムを日本企業に提供 (2018 年 7 月 11 日)

<https://www.isid.co.jp/news/release/2018/0711.html>

<電通国際情報サービス (ISiD) 会社概要>

社名	: 株式会社電通国際情報サービス (略称: ISiD)
代表者	: 代表取締役社長 釜井 節生
本社	: 東京都港区港南 2-17-1
U R L	: https://www.isid.co.jp/
設立	: 1975 年
資本金	: 81 億 8,050 万円
連結従業員	: 2,716 名 (2017 年 12 月末現在)
連結売上高	: 83,423 百万円 (2017 年 12 月期)
事業内容	: ISiD は、社会や企業のデジタルトランスフォーメーションを、確かな技術力と創造力で支えるテクノロジー企業です。金融業務や製品開発の領域で創業以来培ってきた知見に加え、人事・会計など企業活動の根幹を支えるシステム構築の実績、電通グループのマーケティングノウハウ、そして IoT やロボティクス、AI など先端技術の社会実装に向けたオープンイノベーションへの取り組みにより、社会と企業の課題解決に貢献する、価値あるソリューションを生み出し続けています。

<ISI-Dentsu of America, Inc. (ISiD アメリカ) 会社概要>

社名	: ISI-Dentsu of America, Inc.
代表者	: President & CEO 木村憲司
所在地	: 767 3rd Ave 28th Floor, New York, NY, 10017
U R L	: http://www.isidentsu.com/
設立	: 1987 年 2 月
株主	: 株式会社電通国際情報サービス 100%
事業内容	: 金融、マーケティング、データサイエンス領域におけるシステム開発・コンサルティングサービス、先端テクノロジーを活用したプロダクト/サービスの共同研究/開発サービス

* 本リリースに記載された会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。